

福知山市下水道事業経営戦略ロードマップ

令和7年9月

1 これまでの主な経営健全化の取組

下水道事業では、水洗化に係る加入促進を始めとして、施設管理の民間事業者への委託による定員の適正化やストックマネジメント計画に基づく計画的な施設の更新により事業費を抑制するなど経営健全化に向けた取組に努めてまいりました。しかしながら、一部の事業については一般会計からの繰出基準外の補助金に依存している状況となっています。

2 経費回収率向上に向けたロードマップ

国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進」に基づき経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

経費回収率向上に向けて、経営戦略の見直しに合わせて、下水道使用料の改定を検討していきます。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
経営戦略計画期間													
経営戦略計見直し	◎			◎					◎				
計画期間													
使用料の検討				◎					◎				

3 業務目標

ロードマップに従い、経営戦略で定めた以下の数値を基準に定期的に下水道使用料の改定を検討していきます。

(単位:千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
経費回収率(a/b)	111.5	111.1	105.3	110.3	106.7	91.9	95.9	94.6	92.9	90.0	89.9	90.3	89.9
使用料収入(a)	1,753,746	1,768,275	1,778,967	1,739,523	1,741,213	1,681,362	1,727,526	1,719,343	1,711,215	1,703,148	1,695,155	1,686,675	1,678,186
汚水処理費(b)	1,573,099	1,591,319	1,688,654	1,576,579	1,632,504	1,830,032	1,800,714	1,817,520	1,842,382	1,892,424	1,885,991	1,868,859	1,865,846

ア. 実施予定時期

令和5(2023)年度～令和14(2032)年度

イ. 経費回収率向上に向けた具体的な取組

ストックマネジメント計画に基づく適正な投資事業の実施や経営戦略の定期的な見直し及び適正使用料単価の検証による事業運営の適正化を行います。

4 進捗管理と経営指標

経費回収率向上に向けたロードマップの推進のため、毎年度目標指標の達成状況を把握することで進捗管理を行います。

また、少なくとも5年に一度、下水道使用料の改定について検討するなどして下水道事業の持続可能性の確認を行います。

○ 公営企業会計を適用した地方公共団体において、今後、汚水処理事業が社会資本整備総合交付金の重点配分対象とならないケース

- ・ロードマップに定めた業績目標を達成できない場合。
 - ・令和7年度以降、供用開始後30年以上経過しているにもかかわらず、使用料単価が150円/㎡未満であり、かつ経費回収率が80%未満であり、かつ15年以上使用料改定を行っていない場合。
- (国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進についての留意事項」より)

※このロードマップについては公共下水道事業および特定環境保全公共下水道事業の合算で作成しています。